



パウダースノー 気持ちい〜♪ 〜戸田小でかんじき体験〜

主な内容

読書感想文の最優秀作品を紹介……………	2～3	村農業生産者大会……………	6
江刺家小で家庭教育学級講演会……………	4	村小中学校スキー大会……………	10
スーパーキッズをクローズアップ……………	5	舞踊発表会……………	16

最優秀作品を紹介

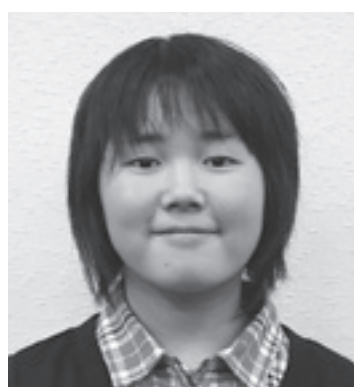
第25回村民読書感想文コンクールにおいて、44点の応募の中から最高賞に輝いた、下村かな子さん(戸田小5年)と、山本瑞紀さん(伊保内高1年)の作品を紹介します。(入賞者は4ページで紹介しています。)

九戸村長賞

そうあの日、マグニチュード九・〇の地震が東日本をおそった日、私は友だちと家で遊んでいました。初めて経験する大きなゆれはとてもこわかったものの、被害はありませんでした。初めはテレビが映らなかったのですが、これほどの被害が出たことを知った時は泣きたくなりました。福島は津波や原発など大きな被害を受けました。この本を読んでも、まだまだ復興からはほど遠い中でも、みんなに希望の光をもたせてくれた「アクアマリンふくしま」という水族館のことを、多くの人に知らせたいという著者の気持ち、私にも届きました。

この日も飼育員さんたちは、いつもと変わらず、動物や魚たちの世話をしていました。とつぜんゆかがつきあがるほどの大きなゆれがおき、津波がおそってきました。高波が町を飲み込んでいく様子を見た人たちはどんな気持ちだったのでしょうか。映像を見ただけでもとてもこわいので、現実のきょうふや絶望の大きさは想像できません。

アクアマリンふくしまでは建物が津波の被害を受けただけでなく、電気が来ないために、多くの生物たちが死んでしまいました。自



分たちが長年愛情をこめて世話をしてきた生物が、苦し

み、弱って、次々に命を落とすとしていくのを何もできずにただ見守るだけしかできない時の悲しさや悔しさを考えると胸が苦しくなります。

この水族館は他の水族館と違い、自然と同じように生活できる環境を作り上げることを一番大切にしているのです。環境水族館と呼ばれるので、環境水族館と呼ばれます。二千年の開館当時から十年かけてやっと生物の生態系ができたのに、震災ですべてがだめになってしまい、飼育員さんたちは

がんばっぺ！アクアマリンふくしま

戸田小学校5年 下村 かな子さん

ているのだと思いました。

アクアマリンには全国の人が応援に来てくれたり、協力してくれたりしました。まだまだがれが多く残る中、再開できたのは、全国の人の支えや、水族館の人たちのあきらめない気持ちがあったからだと思います。全国からたくさんの方が集められ、水族館は生まれ変わりました。みんなだけじゃうれしかったことでしょう。私も勇気や元気をもらいました。ぜひこの水族館に行ってみたくて、応援していきたいです。

【図書名 がんばっぺ！アクアマリンふくしま】
中村 庸夫 作／フレーベル館

教育委員長賞

人には必ず習慣がある。朝起きて、ご飯を食べ、学校へ行く。帰ったら少しテレビを見て晩ご飯を食べ、学校の宿題をやったりして自分の時間を過ごして

から寝る。そしてまた朝を迎える。人それぞれ習慣はちがうかもしれないが、だいたい毎日はそのような事をくり返して生活している。しかし、こんな毎日でも私たちは「生きたい」と思っている。なぜ人は「生きたい」と思うのだろうか。

最初に浮かんだ考えは、「怖い」から。死んでしまったら、自分はどうなってしまうか分からな

いからだ。昔、私が小さい頃。「死んだ人はまた生まれ変わる」とか、「死んでも天国で見守ってくれているんだよ」ということを教わった。誰だったかは忘れてしまったけど、それを聞いて少し嬉しくなったのを覚えている。小さい頃は、全く疑いもせず、その言葉を信じきっていたが、実際

はどうなってしまうのかは誰にも分からない。

また、私は小

学生のころに、ひいおばあちゃんを亡くしている。ひいおばあちゃんは、私が家に一人いるときに話し相手になってくれた。時には、一緒に遊んでくれたりもした。そんな優しいひいおばあちゃんが大好きだった。

ひいおばあちゃんは、近所でもすごく長生きしていた方だったので、本当はいつ死んでしまってもおかしくはなかった。でも、すごく元気だったからすぐ死んでしまうことはないだろうと考えていた。しかし、家で倒れ、病院に入院してしまい、その数週間後に亡くなってしまった。それを知った時は、とても変な感じがした。まず驚きだ。そして悲しき。それから、言いたい事も言えなかった悔しさや後悔、ゆっくり休んでほしいという思いなどだ。そして最



後に思った事は「怖い」だった。昨日まで

元気だったひいおばあちゃん

が……。昨日まで温かかった体が……。そんな出来事も死ぬところが「怖い」と思う理由の一つだ。ところがこの本を読んで、「生きたい」と思う理由には「怖い」からという理由だけじゃないということを知った。

人は必ず一つは夢を持っているはずだ。大きな夢でなくても、小さな目標くらいは誰にもあると思う。その、未来への夢や希望が私たちを「生きたい」と思わせているのだと思う。

私にも、将来の夢がある。そのために、大学進学を目標にしている。これから、この将来の夢や目標は変わるかもしれない。しかし夢や目標を持つことは、とても良いことだと思った。なぜなら、前までやりたくなかった事やできなかった事が、「やってみよう」とかできるよ

生きているって

伊保内高等学校1年 山本 瑞紀さん

うになつてきたからだ。

例えば、私の場合だと勉強面だ。中学校の頃は勉強があまり好きではなかった。だから家であまり勉強してなかった。しかし大学進学という目標を持つてから自然と勉強が楽しくなってきた。分からない問題ができるようになる、もつと頑張ろうと思えるようになった。夢や目標は、「また明日も頑張ろう」とか「生きたい」と思える原動力になつているのだと思う。

また、私は家族の存在も生きていく上でとても重要だと思う。この本の主人公は、中学生で家族全員を亡くしている。それから一緒に暮らしていたおばさん

さんも亡くした。もしも私がある立場だったら、絶対にたえられないと思う。なぜなら、家に帰っても「おかえり」と言ってくれる人もいないし、おいしいご飯を作ってくれる人もいないからだ。「死が私のまわりで幅をきかせていくほどにふしぎと私は自分

が一人ぼっちになつていくのではなく、むしろ死んでしまったら彼らの側へと近づいていく気がした。」これは、この本の主人公の言葉だ。この言葉を見て、私は少し悲しくなつた。この言葉は、明日への希望も何も無いように思えるからだ。確かに家族全員亡くなったからすぐに立ち直れる人は絶対にはいないと思う。でもだからといって自分も家族を追つて死んでしまつていいとは思わない。

人は人生の中でいろいろな人と出会い、その中で助け合つて生きている。その過程で自分のやりたい事などを見つけていく。明日何が起きるかも分からないし、将来どうなっているかも分からない。だけど、私は自分の夢を叶えたいし、もつといろんな人と関わつて自分を成長させていきたい。それが、「生きたい」ということだと思つた。

【図書名】 ラン
森 絵都 作/角川文庫

九戸村民読書感想文コンクール
入賞者21人に表彰状が贈られる

第25回村民読書感想文コンクール表彰式は2月20日、HOZホールで行われ、入賞者21人に表彰状が手渡されました。千葉和彦教育委員長が「読書は集中力と読解力が身に付く。読書を楽しむと心の豊かさがあふれるので、読書に取り組んでほしい」とあいさつ。

審査員長を務めた戸田小学校の作山文康校長が「これからは、自分自身の思いを表現していくことが求められる。同年代の読書感想文を読んで自分自身を成長させてほしい」と講評しました。



入賞者一人一人に表彰状が手渡されました

第25回村民読書感想文コンクール入賞者

賞	氏名	学校名・学年	図書名
村長賞	下村 かな子	戸田小 5	がんばっぺ! アクアマリンふくしま
教育委員長賞	山本 瑞紀	伊保内高 1	生きること
優秀賞	山下 須瑞	伊保内小 2	お話を聞いてあげよう
	柳平 千織	長興寺小 4	やっぱり自分の心が一番いい!
入選	大谷 茜	山根小 1	おねえちゃんみたいになりたいな
	谷地 海希凧	戸田小 2	大切なこと
	田澤 愛里菜	山根小 3	ほうきにのれないま女を読んで
	佐々木 愛深	戸田小 4	笑顔がたくさんのおうち
	谷地 星麗凧	戸田小 5	おじいちゃんの手を読んで
	脇澤 寿輝	九戸中 1	落ちこぼれの意味
佳作	坂本 星凧	長興寺小 1	おばあちゃん大すき
	七戸 和人	江刺家小 1	はやねはやおきげんきパワー
	小沼 玖慧	山根小 2	ねがいがかもったしげる
	玉川 政貴	長興寺小 3	魚のいいところ発見
	尾友 快晟	伊保内小 4	心のバトンタッチ
	小沼 侃士	山根小 5	ファーブル昆虫記を読んで
	野中 凌雅	長興寺小 5	甲子園で活躍したい
	大下 美輝	山根小 6	あきらめないことが大切
	中村 偉織	長興寺小 6	「努力」すること
	椛木 菜々瀬	九戸中 1	一日、一日を大切に
	小川 幸恵	伊保内高 2	HIVと共に生きるとは

江刺家小学校で家庭教育学級講演会

早寝・早起き・朝ごはん

家庭教育学級講演会が2月5日、江刺家小学校で開かれました。江刺家小学校のPTAや村内の教諭など約60人が参加。日本体育大学の野井真吾准教授が、元気が湧き出るからだ・心づくりをテーマに講演しました。自律神経機能(からだ)と前頭葉機能(心)を育てれば元気が出ると説明しました。



野井先生の講演を受け、手を叩く保護者の皆さん

自律神経機能(からだ)を成長させるには十分な睡眠が必要。最近では5人に1人が睡眠障害に陥っているというデータもある。日中の受光を増やし、睡眠導入ホルモンと言われる、メラトニンの分泌を促すことが必要である。

前頭葉機能(心)については、興奮と欲求のバランスが大事である。栃木県のある幼稚園では、朝一番に「じゃれつき遊び」を行っている。その結果、子どもの心が育ちが早い成果が上

がっていることを紹介。

からだと心を育てるには「早寝・早起き・朝ごはん」ができれば理想であるが、「光・暗闇・外遊び」など、少しでも頑張ればできそうなことから心掛ければ取り組みやすい。

「毎日を楽しく生きるには、子どもと一緒に少しかけ頑張ればできそうなことから取り組めば、大人も明るく元気が湧き出てくる」と野井先生は話されました。出席された保護者たちは、メモをとりながら熱心に耳を傾けていました。



しもかわら ゆうだい

下川原 雄大

九戸中学校 3年

第 62 回県中学校スキー大会
男子大回転 優勝

下川原雄大君が第 62 回県中学校スキー大会の大回転で初優勝に輝きました。1 回目、2 回目とも最速タイムを記録し快勝しました。

前日からの降雪の影響で踏ん張りづらいコースで、「柔らかい箇所と硬い箇所があり、そのバーンに合わせた滑りをするのが難しかった」と振り返る下川原君。その悪条件の中で、「思い切って最後まで攻めの滑りができた。自分の持っている力を出し切り、力を解放する方向と、外足に乗るタイミングを強く意識してうまくできた」ことが勝因と自己分析。

鹿角市で行われた東北大会では、課題である「腰の動きやコース全体を見て滑ることができた」振り返る下川原君。得意の大回転で県最高位、5 位入賞。回転でも県内トップの 8 位入賞を果たしました。富山県の全国中学校スキー大会では、大回転で 24 位と県勢の最高位に入りました。今後も「自分の力を信じて高校でも頑張っていきたい」と誓っていました。



あさみず ひろか

浅水 洸佳

平館高校 2年

第 53 回県スキー選手権アルペン競技会
女子回転 優勝

第 53 回県スキー選手権アルペン競技会の女子回転で優勝した浅水洸佳さん。大会は八幡平市で行われ、県外からも集まる全日本スキー連盟 B 級公認の大会。浅水さんは初めて岩手県の頂点に輝きました。

2 回の合計タイムで競われる回転競技。「回転は苦手意識がある」との浅水さん。1 回目はトップタイム 48 秒 04 を記録。2 回目も的確なラインをとり、合計タイムで 2 位以下に約 1 秒差をつけて初優勝を飾りました。

札幌市で開かれたスキーインターハイでは、回転競技は悪天候に見舞われ 1 回のみ滑走。コースもセットも難しい条件で、「体の使い方や雪質に合った滑りができず、自分の力が出せなかった」と振り返るが、県選手の中で最高位の 33 位に入りました。3 月中旬に行われる全国高等学校選抜スキー大会では「上手に滑るのではなく、攻めの滑りをして入賞をしたい」と決意を新たにしていました。

クローズアップ

この冬、全国の大舞台できらりと輝いた九戸村出身のスノーパーキッズを紹介します。

m u r a n o w a d a i

むらのわだい

皆さんからいろいろな情報をお待ちしています。
お気軽に広報担当☎42-2111（内線168）へお寄せください。

農業生産者の集い

農業の躍進誓い合う

村農業生産者の集い・第39回農産共助会が2月19日、HOZホールで開かれ、村内の農業関係者など約140人が農業の躍進を誓い合いました。褒賞授与では、作物別に、出荷額などが優秀な生産者に対して表彰状が贈られました。

その後、農業生産工程管理（GAP）の取り組みと農薬の適正・効果的な使用について、二戸農業改良普及センターの高橋正広普及課長と千田裕主任農業普及員が講演。安全・安心のトップブランドを目指している、栃木県の取り組み事例を紹介。「これからの農業は、安全性や環境負荷などの農産物の倫理品質を高めることが必要」と説明しました。



村長表彰の優秀賞に輝いた(有)大崎農場の大崎鉄藏さん



山本勝男さん④が肉用子牛多額生産者の部で優秀賞を受賞しました 今後の農業について講演した、高橋正広普及課長⑤と千田裕主任農業普及員

戸のまち親子スキー交流会

六戸町との交流に笑顔

戸のまち親子スキー交流会が1月26日、村営くのへスキー場で行われました。戸の兄弟のまち交流事業の一環で、六戸町から28人を招待。村内から22人が加わり、合計50人が参加。個々の能力に合わせたクラスで指導を受けながら、スキーを通じて交流を楽しみました。参加した皆川晶南さん（戸田小5年）は「いつもは親と一緒にスキーに来るのが楽しみ。今日は六戸町の小学生と交流ができてとてもうれしかった」と笑顔で話していました。



インストラクターの指導の下、スキーを楽しむ参加者



友達と協力して知恵を振り絞り、段ボールで避難所を作りました

村ジュニアリーダー研修会

段ボールで避難所づくり体験

九戸村子ども会育成会連絡協議会が2月3日、県北青少年の家でジュニアリーダー研修会を行いました。村内5つの小学校の5年生53名が参加し、段ボールで避難所づくりを体験。子どもたちは班員全員が寝られるスペースなどを、段ボールとガムテープを駆使して制作。寝袋を作ったり、屋根をつけたりして知恵を振り絞り、個性あふれる作品を完成させました。伊保内小の古館玄悠君は、「初めて会った人たちが多かったけど、友達ができて良かった。箱を使ってちゃぶ台も作れた」と笑顔で答えていました。



かんじきを履いて雪の上を軽やかに歩く、戸田小児童たち

戸田小児童がかんじき体験 雪上散歩に笑いと歓声

戸田小学校の3年生から6年生の児童43人は2月12日、かんじき体験を行いました。村田勝義さん手作りのかんじきを履き、村山友会の皆さんの指導を受けながら、児童らは歓声を上げて雪上散歩を楽しみました。さらに、一面銀世界の中で、丘から滑って遊んだり雪合戦をしたりと、雪との触れ合いを満喫しました。

日野澤さくらさん(4年)は「2回転だけけど楽しかった。深い所に入ると1歩進むのも大変でした。かんじき体験は冬の楽しみの一つです。毎年体験することができて嬉しいです」と笑みを浮かべていました。



農畜産物総合優良生産者の部で、



葉たばこ多額生産者の部で優秀賞を受賞した森下誠さん(写真は孝子さん)



滝沢ふるさと交流館で、軽やかに「川向駒踊り」を披露しました

滝沢村郷土芸能まつり 川向駒踊りを華麗に披露

第8回滝沢村郷土芸能まつりが1月27日、滝沢ふるさと交流館で開催され、「川向駒踊り」が招待団体として出演しました。今年は「鈴と笛の音色に駒が舞う」をテーマに、田植踊り、駒踊り、神楽など10団体1個人が勇壮で華麗な演技で、観客を魅了しました。招待された「川向駒踊り」は、小学生から大人まで30人が軽やかに駒踊りを披露。演技を終えた皆さんは、充実感にあふれたすがすがしい表情を浮かべていました。

伊保内保育園で豆まき 心の中の鬼も退治

伊保内保育園で2月1日、節分行事の豆まきを行いました。ダンスを元気に踊っていると、こん棒を持った赤鬼と青鬼が登場。「悪い子はいねーがー」と鬼が園内のホールで暴れると、園児たちは「鬼は一外! 福は一内!」といり豆を鬼に投げ攻撃し、悪い鬼たちを園から追い払いました。「なきむしおに」や「おこりんぼおに」など、心の中にいる悪い鬼も退治した子どもたち。鬼を追い払ったあとの園児たちは「泣かなかったよ」とほっとした表情を浮かべていました。



元気に「鬼は一外! 福は一内!」と、鬼に豆を投げる園児たち

ありがとうございます

ケーエスエンタープライズ様から寄附



ケーエスエンタープライズ様へ感謝状が贈呈されました

株式会社ケーエスエンタープライズ様が、くのへセレモニーホールの落成を記念して、村へ寄附金50万円を寄贈しました。

1月29日、五枚橋久夫村長から感謝状の贈呈式が行われました。寄附金は、住みよい村づくりのために大切に活用させていただきます。温かい寄附、ありがとうございました。

長寿祝い金と花束を贈呈

小野寺マツさん笑顔で99歳

小野寺マツさんが2月5日、99歳の誕生日を迎え、五枚橋久夫村長が折爪荘を訪問し祝福しました。ご家族や折爪荘の職員が見守る中、五枚橋村長が長寿祝い金と花束を手渡しお祝いをしました。小野寺さんは満面の笑顔で受け取っていました。3食なんでも食べる小野寺さん。これからも元気に過ごしてください。



白寿の誕生日を迎え、笑顔で花束を受け取る小野寺マツさん

桂川誠一郎さん 101歳祝福

桂川誠一郎さんが2月8日、101歳の誕生日を迎えました。当日は、息子さんの俊明さんが代理で花束と長寿祝い金を五枚橋久夫村長から受け取りました。誠一郎さんは村の男性の最高齢者で、子ども7人、孫20人、ひ孫17人、やしやご1人に恵まれ、家族との会話を楽しんでいるそうです。

◎長興寺小でPTA防災講演会 自分の命は自分で守る

長興寺小学校で2月13日、4年生から6年生と保護者などを対象に、防災講演会を行いました。二戸消防署一戸分署から荒谷雄幸副分署長を招き、復興教育について学びました。東日本震災の救助活動などをスライドを



竹棒と毛布を使い担架を作る長興寺小児童

使って紹介。被災時は臨機応変に対応し、生きる力を覚えておくことで被害を軽減できる。みんな生き延びることが

大切とお話いただきました。また、野田村役場から島川英和さんも駆け付け、「自分たちが助かることをまず先に考えてほしい」と説明。

講演の後、学年ごとに分かれて、竹棒と毛布を使い担架を作ったり、ツナ缶で即席ランプを作ったりして、お互いに発表し合いました。野中凌雅君（5年）は「1人で生きられるように準備したい。知らない所に行っても、もしもの時に備えて準備していきたい」と感觸を発表しました。

県中学校1年生バレーボール大会

九中男子1年チームが3位

1月12日に花巻市で行われた、第21回岩手県中学校1年生バレーボール大会で、九中男子1年生チームが第3位、女子はベスト8に入賞しました。優秀選手にも選ばれた、下川原凱斗君は「声を出して九中らしいバレーができた。課題の集中力が継続しないことなどをこれから克服していきたい」と話していました。



県中1年生バレーボール大会で第3位に輝いた九中男子1年生チーム

むすぶの文芸

第298回 くのへ俳句会

菅野 岑子

一水の音なき流れ枯野中
花野中帰路は風向き変りをり
青々と野面の起伏十三夜
茶の花のみなうつむきて葉の裏に
人日の人寄せうまき女かな

館村 青村

振り返える伶俐な顔の狐かな
深雪晴峽的皚の毛無し山
添うてより五十余年や春こたつ

冬部 雪女

いたわりの言葉かけ合ふ四温晴
春立つや大声届く勝手口

埋葬のいとまの塩や細雪

高島ふみ女

追伸に漸く本音初便り
約束の場所を持ちたる恋の猫
メモ好きな亡夫の癖字や古暦

渡 赤藤

節分や義母の体調和らぎて
寒明けや高齢胸に夢もあり
冬晴や目線外へと姑誘う

義也

堆肥舎を度々狐訪ねきて
夕餉あと輝の手当ての手際よき
除雪車や家揺るがして通りけり

田村 畦畔

二月来る生老病死がふと過る
年老いて賀状中止の知らせかな
初場所や最原の力士今日も負け

古館やすお

鳥鳴く通院帰りの凍れ空
電車発ちホームの端の枯木星
夜半の灯に算盤合はず狐啼く

【一月例会の席題句】

「冬ざれ」

良き事も悪しきも重ね冬ざるる (ふみ女)
冬ざれや枯木に鴉一羽いて (善也)
出無精の日々となりつつ冬ざるる (赤藤)

「懐炉」

懐炉貼り生きる話と逝く話 (ふみ女)
迷わずに姑の土産は懐炉買う (赤藤)
懐炉抱く記憶の中に母在す (雪女)
懐炉抱く昼のできごと忘れよう (やすお)

【寄稿句】 櫻庭千鶴(戸田小一年)

スキーはねすいすいすべる楽しいな

全国林業経営推奨行事

大崎善實さんに農林水産大臣賞



農林水産大臣賞を受賞された大崎善實さん(右)

平成24年度全国林業経営推奨行事(公益財団法人大日本山林会主催)において、大崎善實さん(雪屋)が農林水産大臣賞を受賞しました。

大崎さんは、九戸村林業実行組合長や岩手県木炭協会理事などを務め、集約化施策の実施について地域の組合員に働きかけるなど、地域の森林整備の促進に貢献。大崎さんは「身に余る光栄と感謝の気持ちでいっぱいです。今後も継続して取り組みたい」と喜んでいました。

わが家の人気者

1歳のお誕生日おめでとう☆



西野 ひなたちゃん

3月10日生まれ/宇堂口
(父)啓樹さん(母)美那さん

「いっぱい食べていっぱい遊んで
すくすく大きくなってね。」お父さん・お母さんより

◎4月に1歳を迎える赤ちゃんの写真を大募集!!
ご希望の方は3月8日(金)までに、写真(データも可)
を広報担当(☎42-2111内線168)までお持ちください。



村教育振興運動集約集会

これからの教育を学ぶ

村教育振興運動集約集会並びに村PTA研究大会が1月27日、HOZホールで行われました。村内の保育施設、幼稚園、小中学校、高等学校の保護者、教職員など159人が参加し、これからの教育について理解を深めました。

実践事例発表では、戸田保育園実践区が歯磨きカレンダーなどを使って、虫歯の治療率が村内施設で一番になった成果を発表。小学校部会では、山根小学校実践区が、学区民奉仕作業や山小イーグルスなど、4つの活動を紹介。家族のみな



戸田保育園保護者会の皆さんが園児の虫歯予防の取り組みを発表

らず地域の皆さんに協力いただきながら活動を継続していることを発表しました。記念講演では、岩手大学教育学部の田代高章教授を招いて、「生きる力を育む教育の課題」をテーマにお話いただきました。これからの教育は「学力形成」と「生きる力を育むこと」が必要であると話されました。この日は、次の方々へ表彰状が贈られました。受賞者は次の皆さんです。(敬称略)

■教育振興運動功労者表彰

▼団体の部 戸田ファイターズ、読書ボランティア(長興寺小学校)

▼個人の部 田口貢、田澤美佐子、下川原光彦、上宿当荒田ゆかり、佐々木睦

■PTA連合会功労者表彰

▼感謝状 田澤信夫、河村敏弘

▼個人の部 田澤松雄、本堂友明、川畑勝信、関畑義伸、古館実智幸、林弘昭、下川原千春、觸澤勝幸

村小中学校スキー大会

自己ベスト更新に

59人が挑戦



声援を受けながら自己記録の更新を目指しました

第18回村小中学校スキー大会は2月16日、村宮くへスキー場で開かれ、59人の選手たちが出場しました。開会式では、浅水愛佳さんが「精一杯最後まで滑りきることを誓います」と元気よく選手宣誓。副大会長の千葉利夫教育長が「健康な体力づくりをぜひ心掛けてほしい。自己ベストを目指して最後まで諦めずチャレンジしてください」と激励のあいさつ。選手たちは、記録の更新を目指し、日ご

ろの練習の成果を大いに発揮。最後まで懸命に滑っていました。3位までの入賞者を紹介します。(敬称略)

【男子】▼小学校1年①山谷琉斗(長興寺)②山下希風(戸田)③大崎雅嗣(長興寺)

▼同2年①千葉政人(伊保内)②櫻庭佳之(戸田)③中野感大(長興寺)▼同3年①橋山智哉(戸田)②山本瑠輝(同)③千葉雄大(伊保内)▼同4年①古館陽音(長興寺)②関向郁哉(伊保内)③岩崎宏紀(山根)▼同5年①欠端太陽(戸田)②小沼侃士(山根)▼同6



6位以内の入賞者に表彰状が贈られました

戸)▼同2年①櫻庭千鶴(戸田)②関向智香(伊保内)③中村みわ(同)▼同3年①滝祥佳(伊保内)②中村ふみ(同)③中澤ななみ(戸田)▼同4年①山下さくら(伊保内)②佐々木愛深(戸田)③本川美優(同)▼同5年①桂川侑華(伊保内)②皆川晶南(戸田)▼同6年①大崎莉奈(長興寺)②玉川聖来(同)③田澤陽明子(山根)▼中学校①浅水愛佳(九

生き方

稲盛 和夫 著/サンマーク出版



心を磨くというと宗教的な修行などを連想するかもしれませんが、仕事を心から好きになり、一生懸命精魂込めて働く、自分がなすべき仕事に没頭し、工夫をこらし努力を重ねていく。それは与えられた今日一日、今という一瞬を大切に生きることにつながります。

聞く力

阿川 佐和子 著/文藝春秋

頑固オヤジから普通の小学生まで、つい本音を語ってしまうのはなぜか？インタビューが苦手だった阿川さんが1000人近い出会い、30回以上のお見合いでつかんだコミュニケーション術を初めて披露する。テレビでおなじみの鋭いコメントで人気の著者です。



なぜ日本経済は世界最強と言われるのか

山口 正洋 著/東邦出版



みんな日本を待ち焦がれている！2005年頃から「決定の遅い日本企業よりも中国を相手にすべきだ」と中国へ出て行った企業が、ルールを守らない中国のやり口を知り「やっぱりアジアでパートナーを組むなら日本だな」と考えはじめています。

ぐうたら道をはじめます

たきした えいこ 作/BL出版

春の暖かい日曜日の午後、家で一人ぐうたらしているのが、主人公の真由ちゃん。「怠ける」ではなく、「ぐうたら」しているところに「ぐうたら道」を教える。という猫が現れます。ぐうたらしても文句を言われない「美しいぐうたら」…!?



○開館時間/平日9時～19時・土日祝9時～17時
○休館日/年末年始・お盆と祭り期間

村づくり推進のつどい
地域づくりの理解を深める

村民憲章推進実践協議会と村公民館主催の村づくり推進のつどいが2月3日、HOZホールで行われました。村民憲章推進関係者などが参加し、今後の村づくりや地域づくりのための理解を深めました。

開会式で、安藤孝作会長が、「平成4年に始まった花いっぱいコンクールは、創意と工夫の精神を培い、長きにわたり継続してきた。本日の講演では、放射能の



上村陸巳さんが事例発表

事例発表では、川向地区村民憲章推進実践協議会が発表。夏は九戸まつりで駒



放射線・放射能の健康影響について、菊地さんから講演いただきました

踊りを披露し、先日は滝沢村の郷土芸能まつりにもゲストとして出演。秋は、川向盆踊り大会を復活して開催したところ、参加賞のうち、500本が完売したことなど、四季折々の活動を紹介いただきました。

講演会では、自治医科大学RIセンター管理主任の菊地透さんを講師に迎え、身の回りの放射線・放射線の健康影響などを説明いただきました。菊地さんは「食べ物や私たちの体の中にも放射能があり、私たちは絶えず放射線を受けている。これからは風評被害を防ぐことが必要であり、日常生活では、自らの判断で冷静に対応することが大切です」と話されました。参加者はメモをとりながら熱心に耳を傾けていました。

- また、この日は第20回九戸村花いっぱいコンクールの表彰も行われ、次の実践区
- 努力賞 瀬月内実践区、鹿島実践区
- 優良賞 泥の木実践区、戸田元村実践区
- 優秀賞 丸木橋実践区、戸田館の下実践区、伊保内下実践区
- 最優秀賞 宇堂口実践区



「花いっぱいコンクール」で最優秀賞に輝いた宇堂口実践区

ロコモティブシンドロームとは

高齢により運動器が衰えて、日常生活での自立度が低下し、要介護になる可能性の高い状態を、**ロコモティブシンドローム**（運動器症候群）といいます。

下記の項目が一つでも当てはまれば、ロコモティブシンドロームである心配があります。

- 家の中でつまずいたり滑ったりする。
- 階段を上るのに手すりが必要である。
- 15分くらい続けて歩けない。
- 横断歩道を青信号で渡りきれない。
- 片脚立ちで靴下がはけない。
- 2kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難である。
(1ℓの牛乳パック2個程度)
- 家庭でやや重い仕事が困難である。
(掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど)

予防や改善のための運動として、「開眼片脚立ち」と「スクワット」を行いましょう。

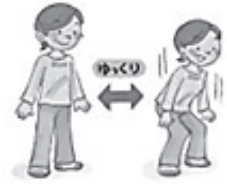
【開眼片脚立ち…左右1分間ずつ、1日3回】

- 床に着かない程度、片足を上げます。
- 転倒しないように必ずつかまるものがある場所で行いましょう。



【スクワット…5,6回繰り返し、1日3回】

- いすに腰をかけるように、お尻をゆっくり下ろします。
- お尻を軽く下ろすところから始めて、膝は曲っても90度を超えないようにします。



そのほかにも、ストレッチ、関節の曲げ伸ばし、ラジオ体操、ウォーキングなどを行うことも良いでしょう。ただし、体調に不安のあるときや、痛みを感じたときは医師に相談し、無理せず行うことが大切です。

(保健師 及川 洋子)

後期高齢者医療だより

☎住民生活課国保住民班 ☎42-2111内線212 (医療制度)、 税務徴収班内線232 (保険料)

後期高齢者医療保険料を納めていますか？

後期高齢者医療保険料は、この制度に加入している方が、万が一、病気やケガをしたとき、その治療のため保険医療機関などを受診した際の財源となる大切なものです。保険料は納期内に必ず納めましょう。

◆納付相談・訪問について

事情により、保険料の納付が困難なときは、役場住民生活課税務徴収班にご相談ください。

また、村では保険料の確保のため、滞納保険料の徴収に取り組んでいます。徴収担当の村職員が納付のお願いに訪問したときは、ご理解とご協力をお願いします。訪問する村の職員は、必ず「身分証明書」を携帯しており、保険料の支払いにATMは使用しません。不審な電話などに注意してください。

◆保険料を滞納し続けると…

督促状が送付され、督促手数料を加えて保険料を納めることになります。公平性を保つために、金額に

よっては延滞金も納めていただきます。

特別な事情もなく、保険料を滞納し納付相談にも応じない方に対しては、次のような措置をとることとなります。

●短期被保険者証の交付

有効期間が短い被保険者証が交付されます。

●被保険者資格証明書の交付

特別な事情もなく1年以上滞納している方は、被保険者証を返還していただき、かわりに「被保険者資格証明書」を交付することになります。(診療費は、いったん全額自己負担となります。)

●医療給付の制限

さらに保険料の滞納が続くと、療養費や高額療養費などの医療給付の一部または全部を差し止めることがあります。

【滞納処分】

保険料を納付する意思がない場合や納付相談にも応じていただけない場合には、法令に基づいた滞納処分が実施され、預貯金・給料・不動産などの財産の差し押さえや公売手続きなどの処分を受けてしまいます。



入学期の交通事故防止

～みんなで守ろう！子どもの命！～

入学・入園を迎えた子どもたちは行動範囲が広がるため、交通事故に遭う危険性が高まります。子どもの特性を理解した運転や交通指導を行い、子どもたちを交通事故から守りましょう。

【保護者の皆さんへ】

1. 通学路の確認

・お子さんと一緒に通園、通学路、頻繁に利用する道路を実際に歩いて、危険な場所や注意しなければならない場所をチェックして、安全な歩き方を具体的に教えましょう。

2. 安全指導のポイント

・道路を横断するときは、横断歩道を利用させましょう。
 ・車の陰や道路、踏切やその付近で遊ぶことの危険性を理解させ、遊ばせないようにしましょう。

雪による事故から身を守りましょう

◆危険な場所を確認しておこう！

雪融けが急速に起こると、山崩れ・崖崩れ・地滑り・雪崩の危険が高まります。急斜面など危険な場所へ近づかないようにしましょう。

◆屋根からの落雪に気を付けよう！

屋根の雪は凍結・融解を繰り返し、氷のように重く固まってしまう。自宅など建物に出入りするときは、屋根から落ちてくる雪に気を付けましょう。

村内の交通事故（1月分）

区分	件数	1月からの累計	前年比
人身事故	0件	0件	±0件
物損事故	9件	9件	-1件
負傷者	0人	0人	±0人
死亡者	0人	0人	±0人
飲酒運転 検挙者	0人	0人	±0人

◎村の交通死亡事故ゼロ日数… **463日**（1月31日現在）

消防署だより

☎二戸消防署九戸分署 ☎42-3119

山火事防止運動月間

3月10日～5月31日まで山火事防止運動月間です。

山火事は、一旦発生すると消火が困難になるだけでなく、貴重な森林を消失させ、その回復には長い年月と多くの労力を要します。火の取り扱いには十分注意して、山火事を防ぎましょう。



【守りましょう】

- ・火入れを行う際、消防署に連絡、または許可を必ず受けること。
- ・たき火をしたら、その場を離れず完全に消火すること。
- ・乾燥注意報などが発令されているときや風の強い日は、たき火を控えましょう。

村内の火災・救急（1月分）

区分	件数	1月からの累計	前年比
火災	2件	2件	+2件
救急	31件	31件	+5件

☎住民生活課国保住民班 ☎42-2111内線211

国民年金

☎二戸年金事務所 ☎23-4111

年金記録、もう一度ご確認を！

いまだ約2,200万件の持ち主が確認できない記録が残っています。ご自身の年金記録に「もれ」や「誤り」があるのではとご心配の方は、パンフレットのチェックリストなどでご確認いただき、お近くの年金事務所などにご相談ください。

約9人に1人、年金記録が見つかっていました

- ・若いころに勤めていた記録が見つかった
例：年額98万円⇒234万円
- ・結婚前の旧姓の記録が見つかった
例：年額43万円⇒154万円
- ・名前の読み方が誤って登録されていた
例：年額0万円⇒137万円

◆お問い合わせ：ねんきん定期便・ねんきんネット専用ダイヤル ☎0570-058-555（050または070から始まる電話の人は ☎03-6700-1144）
 受付：月～金曜日（午前9時～午後8時）
 第2土曜日（午前9時～午後5時）



国税専門官採用試験 (大卒程度) を実施

仙台国税局では、税務職員を募集しています。

■受験資格

- ①昭和58年4月2日から平成4年4月1日生まれの人
- ②平成4年4月2日以降生まれの人で次に掲げる人(1)大学を卒業した人および平成26年3月までに大学を卒業する見込の人(2)人事院が(1)に掲げる人と同等の資格があると認める人

■受付期間

インターネット申込：4月1日㊦～4月11日㊦／郵送・持参申込：4月1日㊦～4月2日㊦

■問い合わせ 仙台国税局人事第二課 (☎ 022-263-1111 内線 3236)

建築物の防災週間 防災相談所を設置

3月1日から3月7日まで、建築物防災週間を実施します。建築に関する地震対策のほか、火災やがけなどの建築物の防災に関する住民の皆さまのご相談にお答えしますので、是非ご利用ください。

■場所 県北広域振興局土木部
二戸土木センター

■問い合わせ 二戸土木センター
(☎ 23-9209)

お詫びと訂正

広報くのへ2月号11頁の「オドデ館友の会の齊藤真会長」の表記は、正しくは「村観光協会の齊藤真会長」です。お詫びして訂正いたします。

求人情報

■有限会社竹村商事

- ①プロイラー出荷作業員(正社員) ②九戸村 ③18歳以上 ④149,500円 ⑤普通自動車免許一種

■株式会社菅文

- ①建築担当(正社員) ②二戸市 ③59歳以下 ④159,200円～181,000円 ⑤普通自動車免許一種、試用期間3か月

■株式会社オンフィール

- ①雑務員(正社員) ②二戸市 ③64歳以下 ④125,500円～195,000円 ⑤普通自動車免許一種、雇用期間は平成25年4月1日～、試用期間3か月

■エクナ株式会社

- ①データパンチ(正社員以外) ②盛岡市 ③不問 ④128,000円～136,000円 ⑤普通自動車免許、パソコン操作(ワード、エクセル)、雇用期間：平成25年2月21日～平成26年3月31日、試用期間1か月

■有限会社大船工務店

- ①型枠大工(正社員以外) ②二戸市 ③不問 ④176,000円～264,000円 ⑤普通自動車免許一種

①職種 ②就業場所 ③年齢 ④基本給 ⑤資格など

◎2月15日現在の求人情報から掲載しています。求人に関するお問い合わせは、ハローワーク二戸(☎ 23-3341)まで。求人情報は役場口ビーでも配布しています。

休日当番医(9:00～17:00)

月日	医療機関	電話
3/3	藤田内科	38-2772
3/10	小原内科医院	23-3410
3/17	二戸クリニック	25-5770
3/20	むらかみ医院いたみのクリニック	48-1500
3/24	金田一診療所	27-2205
3/31	すがわら消化器内科	23-2879

休日当番歯科医(9:00～12:00)

月日	医療機関	電話
3/3	国香歯科医院	23-2223
3/10	森川歯科医院	23-6361
3/17	岩淵歯科医院	32-2238
3/20	窪島歯科医院	23-2425
3/24	曾根歯科医院	27-3108
3/31	関歯科医院	38-2937

ごみ収集日

収集区域	瀬月内／宇堂口／泥の木／平内／妻の神戸田上・下／館の下山根／荒谷／ニツ家	鹿島／伊保内上・下川向／南田	小倉／長興寺上・下大向／五枚橋／荒田雪屋／田代／柿の木江刺家上・下／道地丸木橋／山屋／細屋
燃えるごみ	毎週水曜日	毎週木曜日	毎週金曜日
ビン・金物	3月4日㊦	3月5日㊦	3月11日㊦
空き缶	3月18日㊦	3月19日㊦	3月25日㊦
粗大ごみ			3月12日㊦
紙・プラ類	3月14日㊦	3月22日㊦	3月28日㊦

※指定日に、指定の袋で出しましょう。

㊦住民生活課保健衛生班 ☎ 42-2111 内線 123



町内会などで行う 介護予防活動を応援

介護予防に取り組む町内会や自治会などを、村と二戸地区広域行政事務組合が連携して応援します。活動を計画している地域で、補助金助成などをご希望の場合はお申し込みください。



■支援対象活動

- 介護予防のための健康、生きがいづくり活動
- 介護予防のための知識や技術などを習得するための講座などの開催
- 介護予防に関する地域住民の意識の啓発を図るための座談会などの開催

- その他、介護予防に資する活動

■支援内容

- 補助対象経費の10分の8以内で上限を3万円とし、予算の範囲内で補助します。
- 活動スタッフや講師の調整など

■支援対象者

介護予防活動に取り組む町内会、自治会など

■補助金による助成期間

申請が認められた日から平成26年3月31日まで

■補助金助成の申込期限

4月30日④まで

■その他 申し込みには所定の要望書による手続きなどが必要となりますので、詳細はお問い合わせください。

■問い合わせ 村地域包括支援センター（☎ 42-2111 内線 121）または二戸地区広域行政事務組合介護保険推進室（☎ 23-7772）

お話しませんか？ おしゃべりサロン

お茶のみをしながらおしゃべりをしませんか。保健師・傾聴ボランティア「はまなす」の会員が交代でおりますのでお気軽に参加してみてください。

■日時 3月12日④

午前10時～午前11時30分

■場所 まさざね館

■内容 血圧測定、参加者の交流
※ 傾聴ボランティア「はまなす」とは、みんなのお話を聞くことを目的とする会のことです。

■問い合わせ 住民生活課保健衛生班（☎ 42-2111 内線 122）

公的年金などの 受給者へご案内

公的年金などの収入金額の合計額が400万円以下で、かつ、公的年金などに係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には、所得税の確定申告書を提出する必要がなくなりました。

また、所得税の確定申告が必要ない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。

■問い合わせ

二戸税務署（☎ 23-2701）

陸上自衛隊音楽隊 定期演奏会を開催

陸上自衛隊岩手駐屯地では、第27回陸上自衛隊岩手駐屯地音楽隊定期演奏会を開催します。

■日時 3月16日④ 開場：午後2時15分、開演：午後3時

■場所 盛岡市民文化ホール

■その他 入場無料、事前の整理券は発行しません。先着入場です。

■問い合わせ 陸上自衛隊岩手駐屯地司令業務室（☎ 019-688-4311 内線 584）

北国の家づくり 住まい方セミナー

県北地域の家づくり・住まい方を考えるセミナーを開催します。

■日時 3月9日④

正午～午後4時

■場所 二戸地区合同庁舎

■講師 住宅生活誌「家と人。」編集長：加藤大志朗氏

■参加費 無料

■問い合わせ 岩手県建築士会二戸支部（☎ 23-3040）

国家公務員採用 試験のお知らせ

人事院では、国家公務員採用総合職試験および一般職試験を実施いたします。

【総合職試験（大卒程度試験）】

■受付期間 インターネット：4月1日④～8日④

■一次試験 4月28日④

【一般職試験（大卒程度試験）】

■受付期間 インターネット：4月9日④～18日④

■一次試験 6月16日④

詳しい内容については下記へお問い合わせください。

■問い合わせ 人事院東北事務局第二課試験係（☎ 022-221-2022）またはホームページ（http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm）



フィナーレで旅姿三人男を力強く演じる和田敏さん㊦、山下正勝さん㊧、屋形場正蔵さん



元気いっぱいのパチさばきで、大河太鼓を披露する保育園年長児の男児たち



権現舞を披露する江刺家神楽保存会の皆さん

豊かな表現力が 観衆を魅了

人のうごき

(平成25年2月1日現在)

●人口	6,459人	(-11)
男	3,104人	(-5)
女	3,355人	(-6)
●世帯数	2,205世帯	(+4)
	(カッコ内は前月比)	
転入	4人	(4人)
転出	8人	(8人)
出生	3人	(3人)
死亡	11人	(11人)
	(カッコ内は1月からの累計)	

●●●● 編集室から ●●●●

◆今月は嬉しいことがありました。岩手県の頂点を極めたスーパーキッズを2人も取材できたこと。インターハイ出場など全国遠征で忙しい中、合間を縫って取材にご協力いただきありがとうございます。取材を通して、みなぎるヤングパワーを分けてもらった気がしました。◆これからも明るい話題をお知らせしていきたいので、情報がありましたら一報いただければ嬉しいです(下村)

舞踊発表会

村舞踊研究会(上村勝己会長)主催の舞踊発表会が2月17日、HOZホールで開かれました。開会式では、日本民謡協会岩手九戸会の屋形場正蔵代表が「当九戸会は、7月に県大会で優勝し、平成25年10月に全国大会に出場します。素人の団体だが、プロ意識を持って地域の発展に努めていきたい」とあいさつ。

この日は、村舞踊研究会の会員をはじめ公民館学級舞踊教室の受講生、伊保内保育園の園児や村商工会女性部の皆さんなども参加し、自慢の歌や踊りなどを次々に上演。ステージ上では、日ごころ練習した多彩な舞いが発表され、村内外から訪れた観客の目を楽しませました。

さらに、ゲストにお迎えした下田清美さんの民謡「ショ」と吉田やす子さんの民謡「歌謡ショ」が発表会に花を添えました。熟練の芸にたくさんのお花も届けられ、客席からは、温かい拍手が送られていました。

葛巻から見学に来た、澤口テイさんは「一流の踊り手の皆さんの発表を見て、舞台上に吸い込まれるような表現力に感動しました。来年も来てみたいですよ」と満足そうに笑顔で話していました。